

インターネットテレビ講座「思考透視コース」を受講しました。

主に「スカイア」というテレビ電話を介した岡弘庵先生の授業はとてもわかりやすく、しっかりと透視を理解し、さらには透視を多くの方法で身につけることが出来る構成となっており、また、授業は対面式で進行しますので、わからないこと等があれば、その時に直接質問することが出来ました。

「透視」に関する基礎知識がなく、かつ遠隔地にいる私のような者でも、何ら問題なく受講することができるシステムです。

きっかけや目的が何であれ、「面白そう」あるいは「学んでみよう」といった興味や意欲が、人の少しもあれば、どうでも安心して受講することができるのではないかと思います。

正直な話、先生にお世話をうけ前の私の中では「透視」といって類似のものは「胡散臭いもの」または「手品のようや娯楽の一種」という否定的印象しか持ち合いませんでした。ですから「透視」は興味の対象ではありませんでした。しかし、私がもってみようという関心の対象ではありますでした。

そんな私が「受講する決意をしたわけですが、話は少々さかのほります。平成27年の正月、私はめまいで寝込んでいたことがありましたのでですが、回復には人のしばらくして頃、先生の評判を知る機会がありました。私は毎年人間ドックを受診しており、その結果については私でも重々承知していたのですが、この際、徹底的に私の体の不具合を知っておきたいとの思いに駆られ、半信半疑ではありましたが、その評判を信じて、先生に私の体の不具合に関する透視をお願いしました。その結果、何か叶が不具合があるところを指摘していただきましたが、すぐに命にかかるようだ内容ではないかったことに安堵していました。

これらを含めた透視の依頼等で何度も先生との間で電話やメールのやりとりをするうちに、私の中での「透視」に対する印象が、否定的なものから肯定的なものへと変化してきました。

いえいえと対応していた先生の人柄によるところがとても大きかったのだと思います。

私が「思考透視コース」を受講した理由も、單に「とりあえず面白そうだから」、「行く行くは病気の治療が出

来るようになればいいな」、「仕事に沾湿がすることが出来れば  
まあ結構」といった程度へ、「透視といふものがどの様なものか  
のか少し見てみたい」的な興味本位に基づくものでした。

しかししながら実際にこの講座を受講して、先述から「透視」  
について学び、訓練を積み重ねていくうちに、「透視」はいいえ  
などに役立てることが出来る买东西が何かといった可能性も  
感じる様になりました。

今後も引き続き「病気発見透視コース」を受講し、私や家  
族等の健康増進に役立てられる様に訓練に励んでいきたいと  
思います。

平成28年1月